

議会だより

のせ

No. 103
令和8年8月
2026.8

70



予算常任委員会報告・・・P2
5月会議・6月定例会議報告・・・P3
一般質問・・・・・・・・・・P5

能勢町保健福祉センター

予算常任委員会報告

6月18日 開催

委員長 井上 加奈子

予算常任委員会に付託された「令和8年度能勢町一般会計補正予算(第2号)」について、予算委員会を開催し予算内容を審議しました。審議の後、討論はなく採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

主な質疑内容は、次のとおりです。

賛 否

原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	委員長

注:委員長は採決に加わりません。

町営火葬場の排ガス測定

問 火葬場の排ガス測定について問う。

答 排ガス測定の数値は、工場等の排ガス基準を参考に、ダイオキシン類の目標値を1ナノグラム以下と定めている。令和7年度に実施した排ガス測定で、1.1ナノグラムが検出され、目標値を若干上回る結果となったため、再測定を行うこととしている。

耕作推進支援事業

問 耕作推進支援事業補助金108万5,000円は、共同利用する農機具購入に対する補助金であるが、募集はどのようにされたか問う。

答 府版認定農業者が活用する事業で、一人では申請できず、団体が活用できる事業である。案内は町の農業制度説明会等で、対象となる方に大阪府から説明している。

観光費寄附金

問 寄附金50万円の詳細を問う。

答 民間事業者の寄附活動で、事業者の売上げの一部を花火大会の運営、開催などの支援に充てるものである。町制70周年に向け、大阪のてっぺんフェスティバルのバージョンアップを図るために申請したところ、採択された。

豊能郡環境施設組合負担金

問 原資について、過疎債を使うか、特別交付税とするのか等、豊能郡環境施設組合でも議論があった。どのように決着したか問う。

答 廃棄物管理施設設置工事の水質調査に係るものであり、過疎債等は対象外となるため、一般財源を予定している。過疎債は基本的に工事に対する負担金が対象になる。

消防団員の退職報償金

問 105名分で約4,600万円となっており、退団者の在籍年数が長いことが示されているが、消防団の現状を問う。

答 退団された消防団員の在職年数は平均19年、平均年齢は49.5歳である。今回の退団により、若干若返るが、平均年齢は高い傾向にある。

電算等改修委託料

問 ガバメントクラウドへの移行に伴うシステム改修費用約1,000万円について、現状を問う。

答 同システムを先行導入している自治体において、エラーが多数発生した。府内では4つの自治体为本町と同じシステムを導入しているが、同じく令和7年度の目標を延期し、令和8年度の目標に変更している。

令和8年 能勢町議会5月会議報告

5月1日開催

5月会議には、報告2件、補正予算1件、その他1件が提出され、賛成多数により可決されました。

- ◇専決処分の報告について「能勢町税条例の一部を改正する条例」
- ◇専決処分の報告について「令和7年度能勢町一般会計補正予算（第8号）」
- ◇令和8年度能勢町一般会計補正予算（第1号）
補正額 2,279万円（退職手当）

賛 否

原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

注：議長は採決に加わりません。

- ◇請負契約の締結について（旧岐尼小学校校舎等解体撤去工事）

契約方法 一般競争入札
契約金額 2億7,9180,000円（消費税込）
契約の相手方 株式会社 福井組

賛 否

原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

注：議長は採決に加わりません。

令和8年 能勢町議会6月定例会議報告

6月15・16・17・19日開催

6月定例会議には、報告1件、条例1件、補正予算1件、人事17件、契約2件、その他2件の合計24件が提出されました。賛否が分かれた案件は3件で、その他の案件は賛成全員で可決されました。

- ◇繰越明許費繰越計算書について「令和7年度一般会計予算」
- ◇能勢町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
国の非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令が改正されたことに伴い、非常勤公務員等が、公務等により死亡した場合における葬祭補填額の改正を行うもの。
- ◇令和8年度能勢町一般会計補正予算（第2号）
補正額 8,225万円

（主なもの）

・電算等改修委託料	1,044万円
・環境測定委託料	34万円
・豊能郡環境施設組合負担金	161万円
・耕作推進支援事業補助金	180万円
・おおさかのてっぺんフェスティバル事業負担金	50万円
・消防団員退職報償金	4,606万円
・消防事務委託負担金	1,455万円

賛 否

原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

注：議長は採決に加わりません。

◇能勢町自治功労者の推薦につき議決を求めることについて	上森 一成 氏
◇能勢町自治功労者の推薦につき議決を求めることについて	長尾 義和 氏
◇能勢町自治功労者の推薦につき議決を求めることについて	西河 巧 氏
◇固定資産評価審査委員の選任につき同意を求めることについて	森畠 正己 氏
◇能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	石塚 成子 氏
◇能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	乾 義夫 氏
◇能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	今堀 淳二 氏
◇能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	岡 栄治 氏
◇能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	岡本 一志 氏
◇能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	竹岡 覚 氏
◇能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	辰野 卓爾 氏
◇能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	塚原 洋平 氏
◇能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	中井 哲博 氏
◇能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	東 昇 氏
◇能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	平田 守 氏
◇能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	福井 明房 氏
◇能勢町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	福西 正明 氏

◇請負契約の締結について(能勢町憩いの広場整備工事)

契約方法	一般競争入札
契約金額	3億91,000円(消費税込)
契約の相手方	株式会社 セイショウ

賛 否

原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

◇動産の買入れについて

買入れ動産	生化学自動分析装置及び全自動球計数・免疫反応測定装置
買入れ金額	7,810,000円(消費税込)
買入れ先	株式会社 ケーエスケー 豊中支店

賛 否

原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

◇大阪府後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について

社会保険診療報酬支払基金法の改正により、「社会保険診療報酬支払基金」の名称が、令和8年10月1日から「医療情報基盤・診療報酬審査支払機構」に変更されることに伴い、規約を変更するもの。

◇大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について

共同処理する事務に泉大津市、箕面市及び門真市に係る水道事業の経営に関する事務を追加するため、規約を変更するもの。

一

般

質

問



町民のみなさんの生活を、より良いものにするため、町に対して質問を行いました。主な内容をお知らせいたします。

- P5 …… 井上加奈子
P6 …… 岡田 康司、難波希美子
P7 …… 中西 顕治、川口 省子
P8 …… 岡本ひとし、森田 則子
P9 …… 中植 昭彦、畠中 勝身

一般質問



井上 加奈子

男女共同参画

問 男女共同参画の意識

調査の住民の記述回答に

「長い間、社会の構造が男性主体で築かれてきたことを考えると、地域や

家庭、風習、制度、仕事の在り方までもが、その

価値観を土台にして成り立っているように思いま

す。男女平等や分担、助け合いといった言葉はよく使われますが、その前

提自体が既に男性主体社会の上でできているとす

れば（一部省略）一旦その基盤を意識的に解体し、問い直す必要がある

のではないのでしょうか」とある。これこそ男女共同参画社会実現の本質だと考える。本町はジェン

ダーギャップの原因をどう認識しているか問う。

答 家族、地域、職場の

空気感がギャップにつながっていると考えます。

問 男女共同参画社会の実現が、人口流出や地域

経済にも関わることを伝えないと、理解は進まないのではないかと問う。

答 地域の持続可能性のためにも必要な施策である。意味を知らない人が多いため、啓発したい。

問 男女が共に長期的なキャリアアップを持ち、働きやすく選ばれる町でなければ人材は枯渇する。10年後、20年後を見据え、危機感を持って取り組みでほしいが、考え

を問う。

① 乗合タクシーの子どもの利用促進 ② 男女共同参画の推進

答 風潮に任せているは変わらないと思ってい

る。

乗合タクシー利用

問 昨年度の子どもの利用実績は4名であった。

こどももなかなか社会の実現には、全ての施策を子どもの視点から考える必要がある。認識を問う。

答 これまで高齢者を重点に進めてきたが、児童生徒向けのチラシを作り、夏休みに間に合うよう周知に努めたい。





岡田 康司

樹木の害虫や 倒木リスクの未然防止

問 近年、近隣自治体で桜等に「クビアカツヤカミキリ」による倒木被害発生が拡大の傾向にある。本町はどのような認識、対応が問う。

答 府内や隣接する猪名川町や川西市でも被害が確認されているが、現在、本町では未確認であると認識している。年1回、大阪府からの調査依頼に基づき、10ヶ所以上で、1ヶ所あたり、5本以上見る内容で調査を行っている。

問 町民への発信等に努めていく。

答 道路パトロールや通報に基づき、現地確認を行い、所有者に対して、指導や助言を行う。

問 クビアカツヤカミキリの注意点をどのように周知・啓発する考えか問う。

答 当害虫の行動範囲が3kmであることから被害地域から3km圏内を目安に駆除及び防除対策、発見した場合の連絡先などを掲載した町のホームページを作成し、周知に努めたい。

問 本町も松枯れ（松くい虫被害）およびナラ枯れによる二次災害が危険されている。危険性が高い場所に対し、指導または支援しているか問う。

答 本町も松枯れ（松くい虫被害）およびナラ枯れによる二次災害が危険されている。危険性が高い場所に対し、指導または支援しているか問う。

問 町としてのどのような対策を講じるのか問う。

答 大阪府が策定した「大阪府クビアカツヤカミキリ防除推進計画」等に基づき、関係機関と連



一般質問



難波 希美子

① 町独自の節約要請 ② ゼロカーボントウン ③ 企業誘致

町独自の節約要請

問 原油由来の製品不足、価格高騰、混乱が生じている。住民福祉増進のために、節約要請や生活支援等を発信できないか問う。

答 可能であるが、不安をあおらないよう、国・府からの情報を得て広報を行うべきと考える。

問 住民生活の現場である市町村から声を上げ、国・府を動かそうとしな

答 本町としては、地球温暖化対策としての啓発はしたい。



ゼロカーボントウン

問 地球温暖化対策実行計画の達成見込みを問う。

答 暮らしの電力化率は既に目標達成であるが、EV車率は大幅な未達成である。

問 EV車購入助成をふるさと応援寄附金や環境基金でできないのか問う。

答 今は考えていない。

問 住民の意識向上のために気候市民会議を開催してどうか問う。

答 参加者負担や経費、人材確保が課題である。

気候市民会議
無作為選出の住民が気候変動について、一緒に学び議論し、行政に提案をする会議

企業誘致

問 まちづくり協議会は来年4月に約80%の同意をもって、土地区画整理準備組合に進む予定だが、その時点で連絡が取れない方がいたらどうするのかわ問う。

答 約80%の同意を得られるまで前進を先送りするのか検討する。連絡が取れない方の扱いは、まちづくり協議会で検討する。

問 居住者補償では、今と同等の生活の維持は無

答 居住者は立退きたくもない。理不尽ではないか問う。

答 全国統一の補償基準があり、それに基づいて考えている。



中西 顕治

学校給食の地産地消に向けた 施策の状況

問 学校給食における地産地消の本年度実施計画を問う。

答 昨年度12月に実施した「地元まるごと能勢っ子献立」を踏まえ、本年度も継続して取り組む。年間10回程度の実施を目標に協議を進めている。



問 定期実施に向けた課題を問う。

答 日常的に農産物を取り入れていくことが必要であるとして、本年2月に地元食材活用を3回実施した。

必要量を安定して確保することが最大の課題である。天候による収穫量の変動や発注時期とのずれ、生産量不足などがあるが、生産者、流通関係者、学校が協議を重ねている。

生産者からは出荷についての負担軽減を求める声が出ている。調理現場からは大きな支障は報告されていない。

問 安定した供給に向けて、学校給食向けの年間栽培計画を検討できないか問う。

答 生産者への協力依頼や献立との調整は必要であり、今後協議会で検討していく。

問 保育所や元氣ひろばなど、小規模施設にも地元農産物の供給を広げるべきではないか問う。

答 保育所でも物産センターを通じて地元野菜を利用しているが、調達率は3〜5割程度である。地産地消の率を上げていく協議をしていきたい。



問 農業振興の方向は。

答 大阪エコ農産物の認証取得支援や申請手続きの簡素化を進める。地域計画を基に10年後の農業を見据えた取り組みを進める。

一般質問



川口 省子

外国人住民の 受入れ体制と民泊

問 多文化共生社会における外国人人材について本町の見解を問う。

答 現在、特定技能者や技能実習生が一定おられる状況。今後も、外国人の方との共生は必要になってくると考えている。

問 外国人を対象に交流会は行えないか問う。

答 まずは、本町の居住者も参加可能な、近隣市が実施している交流会を案内していきたい。

問 民泊についての考え方を問う。

答 特区民泊については令和8年5月末で新規認定は終了。現在本町内で特区民泊の施設はない。

① 外国人住民の受入れ体制と民泊 ② 獣害対策

問 今後、違法民泊が発生した場合の対応を問う。

答 民泊の認定権者である大阪府と連携し、適切に対応していきたい。

獣害対策

問 今後の獣害対策の展望について問う。

答 引き続き国府事業等を活用し、有害鳥獣捕獲・

問 駆除鳥獣を能勢ブランドとしてジビエを地域資源にできないか問う。

答 短時間での解体、安定的な供給や人的確保等の問題から、現実的には厳しいと認識している。

問 これまでの獣害対策に並行して、根本的な対策を打っていくべきではないか問う。

答 森林整備も必要不可欠で、今年度から伐採、





岡本 ひとし

① 教育費負担軽減にむけた ② 男女共同参画のとりくみ 施策の拡充

教育費負担軽減にむけ

問 経済格差による学力格差の現状を問う。

答 家庭の所得、保護者の学歴をはじめとする、社会経済的背景が、一定の影響を与えることが統計的に示されている。

問 格差が広がらないと
りくみと改善策を問う。

答 寄り添いながら一人ひとりを引き上げる教育の充実が重要であり、学びの支援を総合的にする必要がある。

問 令和7年度、学力学習状況調査の結果について問う。

答 学園全体における共通課題として、知識技能の定着が大きな焦点であると捉えている。

奨学金制度の現状を

問 問う。

答 能勢町奨学金制度を運用しており、無利息、対応型奨学金である。柔軟に対応するため随時募集し、速やかに行き届くよう配慮している。

男女共同参画社会に

向けたとりくみ

問 男女共同参画の基本認識を問う。

答 男女が互いに尊重し、持続可能な地域づくりを進める基盤であると考えている。

問 推進本部への女性の参画がない。当事者の参画を求めるが認識を問う。

答 学園全体における共通課題として、知識技能の定着が大きな焦点であると捉えている。



部長級以上の委員で

答 構成しており、女性参画が図れば良いと思う。

問 座長が町長であり、女性の参画を担保するという認識でよいか。町長の姿勢が問われていると考え、問う。

答 設置要綱等も考え、検討を進める。

答 設置要綱等も考え、検討を進める。

一般質問



森田 則子

いのちを守るための防災体制

問 要支援者避難行動リ
ストの運用状況や、名簿を最新情報にするなど、今後の改善策を問う。



答 名簿は、区長・民生委員・消防団・社協・能勢町分署と共有し、地域の避難訓練に活用している。今後は「個別避難計画」の作成と啓発の支援を継続する。名簿更新も、住民課で同意を前提に、課内で連携し、名簿を随時更新することは可能である。

問 事前防災の取組みとして、家屋の耐震化推進や、家具固定具などを、

答 公民館は44区中35区が開設する意向がある。今後は拡大するとともに、町との連携方法など一定のルールづくりが必要と考える。

問 公民館の避難所の運用方法と、ペットの同行避難体制を問う。

答 ネットワーク型防災モデルは、有効な手段の一つと考える。現在、防災士は22名と聞いている。防災士登録制度については、防災士協会と一度協議したい。



問 事前防災の取組みとして、家屋の耐震化推進や、家具固定具などを、

答 ネットワーク型防災モデルは、有効な手段の一つと考える。現在、防災士は22名と聞いている。防災士登録制度については、防災士協会と一度協議したい。



中植 昭彦

骨髄ドナー登録の推進および「骨髄バンクドナー支援助成金制度」の導入

問 血液疾患患者を救う骨髄移植は適合確率が低く、多くの登録が必要である。提供に伴う休業等の負担が課題となる中、本町のドナー登録の現状と啓発状況を問う。さらに年齢制限があるため、二十歳のつどい等の機会を捉えた若年層への啓発について考えを問う。

答 登録者数は令和8年3月末時点で31名であり、ポスター掲示等で啓発している。医療を支え若い世代の登録を推進するためにも、行政の積極的な関与が必要と認識している。

問 近隣の豊中・池田・箕面市等では既に助成金制度が導入されている。

答 対象や条件、財源等

問 血液疾患患者を救う骨髄移植は適合確率が低く、多くの登録が必要である。提供に伴う休業等の負担が課題となる中、本町のドナー登録の現状と啓発状況を問う。さらに年齢制限があるため、二十歳のつどい等の機会を捉えた若年層への啓発について考えを問う。

答 登録者数は令和8年3月末時点で31名であり、ポスター掲示等で啓発している。医療を支え若い世代の登録を推進するためにも、行政の積極的な関与が必要と認識している。

問 近隣の豊中・池田・箕面市等では既に助成金制度が導入されている。

答 対象や条件、財源等

答 近隣の支援状況は様々であると把握している。社会的意義から、ドナーが安心して提供できる環境を整えるための取り組みを問う。

問 (町長に) これまでの議論を踏まえ、今一度見解を問う。

答 (町長) 命を守りつなぐまちづくりや若者の登録推進の観点から、早急に前向きに考えたい。

問 (町長) これまでの議論を踏まえ、今一度見解を問う。

答 (町長) 命を守りつなぐまちづくりや若者の登録推進の観点から、早急に前向きに考えたい。

問 (町長) これまでの議論を踏まえ、今一度見解を問う。

答 (町長) 命を守りつなぐまちづくりや若者の登録推進の観点から、早急に前向きに考えたい。



中 勝身

① 空き家対策 ② 獣害対策と耕作放棄地

問 空き家対策について

問 売却や賃貸を考えている方がおられるようだが、町は助成制度等考えているか問う。

答 営農者が減ってきており、高齢化も問題で、地域で支えるなど、法人的な団体にしていきたい。

問 空き家対策の結果、どの様に検討されているのか問う。

問 売却や賃貸を考えている方がおられるようだが、町は助成制度等考えているか問う。

答 営農者が減ってきており、高齢化も問題で、地域で支えるなど、法人的な団体にしていきたい。

問 空き家対策の結果、どの様に検討されているのか問う。

問 売却や賃貸を考えている方がおられるようだが、町は助成制度等考えているか問う。

答 営農者が減ってきており、高齢化も問題で、地域で支えるなど、法人的な団体にしていきたい。

問 空き家対策の結果、どの様に検討されているのか問う。

問 売却や賃貸を考えている方がおられるようだが、町は助成制度等考えているか問う。

答 営農者が減ってきており、高齢化も問題で、地域で支えるなど、法人的な団体にしていきたい。

問 空き家対策の結果、どの様に検討されているのか問う。

問 売却や賃貸を考えている方がおられるようだが、町は助成制度等考えているか問う。

答 営農者が減ってきており、高齢化も問題で、地域で支えるなど、法人的な団体にしていきたい。

問 空き家対策の結果、どの様に検討されているのか問う。

問 売却や賃貸を考えている方がおられるようだが、町は助成制度等考えているか問う。

答 営農者が減ってきており、高齢化も問題で、地域で支えるなど、法人的な団体にしていきたい。

問 空き家対策の結果、どの様に検討されているのか問う。

問 売却や賃貸を考えている方がおられるようだが、町は助成制度等考えているか問う。

答 営農者が減ってきており、高齢化も問題で、地域で支えるなど、法人的な団体にしていきたい。

問 空き家対策の結果、どの様に検討されているのか問う。

問 売却や賃貸を考えている方がおられるようだが、町は助成制度等考えているか問う。

答 営農者が減ってきており、高齢化も問題で、地域で支えるなど、法人的な団体にしていきたい。

問 空き家対策の結果、どの様に検討されているのか問う。

問 売却や賃貸を考えている方がおられるようだが、町は助成制度等考えているか問う。

答 営農者が減ってきており、高齢化も問題で、地域で支えるなど、法人的な団体にしていきたい。

問 空き家対策の結果、どの様に検討されているのか問う。

問 売却や賃貸を考えている方がおられるようだが、町は助成制度等考えているか問う。

答 営農者が減ってきており、高齢化も問題で、地域で支えるなど、法人的な団体にしていきたい。

問 空き家対策の結果、どの様に検討されているのか問う。

問 売却や賃貸を考えている方がおられるようだが、町は助成制度等考えているか問う。

答 営農者が減ってきており、高齢化も問題で、地域で支えるなど、法人的な団体にしていきたい。



能勢町保健福祉センター

通称「ささゆりセンター」は、健康づくりや福祉、子育て支援の拠点です。

館内には、多目的室や和室、バリアフリー調理室、プレイルーム、喫茶などが揃い、温かいコミュニティ空間として親しまれています。

2024年に館内移転した能勢町社会福祉協議会との連携強化や老朽化に対応するため、2025年に大規模改修工事を実施。現在多くの方に、より安全・快適に利用していただいている施設です。



ささゆりセンター前に設置されている看板

町制施行70周年記念キャラクター

町制施行70周年の記念キャラクターは、70を形取り、伝統的な能勢の特産物である^{さんばく}三白(米・寒天・高野豆腐)・^{さんぐろ}三黒(栗・炭・黒牛)をイメージしています。



— おしらせ —

令和8年能勢町議会9月定例会議は9月10日(木)から開会されます。
詳細な日程は、決定次第ホームページなどでお知らせします。

編集後記

すがすがしい季節が通り過ぎ、夏本番となりました。連日、暑い日が続いていますが、熱中症などに注意され、こまめな水分補給と休息をとるように心掛けてください。

さて、議会だより103号は、5月会議・6月定例会議の報告を掲載しています。
今年は町制施行70周年記念の年にあたります。数多くの催しもあり、皆様のご参加をお願いします。

「議会だより」が皆様の町政への関心を深める足掛かりとなれば幸いです。
皆様からのご意見やご要望を是非ともお寄せください。

広報特別委員会

委員長	畠中 勝身	副委員長	川口 省子
委員	森田 則子	岡田 康司	難波 希美子

発行／能勢町議会 発行責任者／平田 要 編集／広報特別委員会 発行日／令和8年8月1日
〒563-0392 大阪府豊能郡能勢町宿野28番地
TEL(072)734-0151 FAX(072)734-2460
ホームページアドレス <http://www.town.nose.osaka.jp>

能勢町議会

